

令和 3(2021)年度 事業報告書



令和 4 年 5 月 21 日

認定 NPO 法人 芦屋市国際交流協会

1、芦屋市制施行 80 周年記念で、「教育・文化の功績顕著な団体」として表彰を受けた。

新型コロナによる緊急事態宣言発出とまん延防止等重点措置及び6ヶ月に及ぶワクチン接種会場利用によって、イベントの多くが開催不可となるも、Zoomの利用や場所を市民センターに変えて開催した。12月から全館利用が可能になり、講演会、セミナーコンサート、世界の料理を開催した。

センター運営について、今年度は指定管理中間期にあたり、外部評価会として7月に公認会計士による財務調査を受けて問題無しの評価。8月に評価委員のヒアリングを受け総合評価は「B」判定であった。

臨時休館及び閉館時間の短縮で一般の利用料収入が減少したが、ワクチン接種会場の利用料として、2階の売上げが大幅に伸びた。その増収を利用者へのサービス還元として、かねてから要望があった2階2部屋の西壁面に固定鏡を設置し、テニスコートにベンチ6台を購入した。経年劣化による事務所と相談室のカーペットの全面張替工事を行った。

2、語学・俳句教室事業

1) 英語・英会話・スペイン語・英語絵本朗読・English Reading Salon・俳句教室

緊急事態宣言発出期間の4月～5月は数回を休講としたが、6月以降は通常通り授業を行った。全17クラスでスタートしたが、12月末で五十嵐クラスが、3月末で稲鍵クラスが閉講となり、3月末で全15クラス受講者数は96名となった。

2講座の閉講に伴い、英語講座をACAならではの講座に編成し春から1講座、秋から1講座の開講を予定。

	講師名	曜日	場所
英語	五十嵐 かほる	水	ラ・モール芦屋 203号
	戸田 博子	木AM 木PM	
	稲鍵 亜早子	木	潮芦屋交流センター
	御園生 寛子	金	
英語絵本朗読	中本 幹子	全12回	
英会話	John Dix	木	ラ・モール芦屋 203号
	Stephen Donald	木	
	Mathew Glen Boyd	金	
	John Dix	火 木	潮芦屋交流センター
	Stephen Donald	月 月	
		金	
	Mathew Glen Boyd	木	
スペイン語	Marco Vinicio	火	ラ・モール芦屋 203号
俳句教室	石川 多歌司	水/月1回	

3、姉妹都市交流事業

1) 姉妹都市学生親善使節交換事業の代替事業

前年度に続き今年度も姉妹都市交流が中止となり、これに代わるプロジェクトとして、60年に及ぶ姉妹都市交流や両市の強い絆を、その始まりから現在に至る写真や動画を再編集して「アーカイブビデオ」に纏めた。モンテベロ市でも芦屋市との交流を広く知ってもらえるよう、英語版も作成した。

上記ビデオを芦屋市の中・高3校（山手中学、兵庫県立国際高校、芦屋学園高校）へ配布し、学生達に姉妹都市交流の在り方や、将来に向けた活動内容について新しいアイデアを出してもらい、これを纏めたレポートと英語版「アーカイブビデオ」をモンテベロ姉妹都市協会に送り交流を図った。

また、より一層芦屋市民にも姉妹都市交流活動を周知する目的でホームページからもアーカイブビデオを鑑賞できるようにした。

2) 60周年記念市民訪問団交流事業

令和3年度の交流事業は一年延期としたが、令和4年度春の芦屋市民訪問団のモンテベロ市訪問は中止と決定し、秋のモンテベロ市民訪問団来芦は新型コロナの動向をみながら決定する。

4、外国人支援事業

1) 日本語教室事業

緊急事態宣言発出期間の4月～5月は数回を休講としたが6月以降は通常に戻り、延べ人数は北教室173人、潮芦屋交流センター456人であった。アクリル板を設置する等の対策を講じ対面授業を行いながら希望者にはオンライン授業を行った。

こども教室の児童数は9名で延べ学習者数は142人であった。

クラス名	曜日	場所
日本語教室(大人対象)	火	ラ・モール芦屋203号
	金	
	月 (AM/PM)	潮芦屋交流センター
	火	
	木	
土		
こどものための日本語教室	土	

2) 外国人のための文化教室

新型コロナで不定期開催となり華道教室6回、書道教室5回、茶道教室3回を

開催した。

茶道教室は恒例の生田神社の初釜はコロナで中止となった。

3) 日本語ボランティア講師養成講座

新型コロナにより前年度から延期に続く延期で、漸く 5/30～7/11 の期間で全 7 回シリーズを市民センターで開催することが出来た。40 名が修了、内 33 名が講師登録し 19 名が活動した。

4) 日本語ボランティア講師ブラッシュアップ講座

今年度は 2 回開催した。1 回目は 1 月に参加者 15 名で情報交換をして、実りのある内容であった。2 回目は 1 回目の情報交換の内容を受け、2 月に外部講師による講座を Zoom 開催し参加者は 17 名。

5) やさしい日本語講座

兵庫県国際交流協会からの無料講師派遣事業で 2 講座「生活・行政情報編」「教育・学校情報編」を 2/10（参加者 21 名）と 3/1（参加者 24 名）に開催した。

いずれも市内の他の日本語教室に携わるボランティアも参加して、やさしい日本語の普及に寄与した。

6) 外国人向けの防災イベント

前年度に中止とした「人と防災未来センター」の施設見学を 11/27（土）に開催した。参加者は 41 名。

7) 災害時の外国人支援セミナー

芦屋市と共催で 10/16（土）に芦屋市役所で開催した。外国人講師によるセミナーで市内在住外国人 8 名の参加があった。

8) コスモネット THE COSMONET

1997 年から「広報あしや」を英訳し、印刷、登録外国人への発送等の一連の活動を行っている。これらの作業を担うのはボランティア担当者 5～6 名(ネイティブの校正含む)で、緊急事態宣言中も中断することなく毎月約 110 部を発行、内 60 部を発送した。

9) コスモジャーナル

令和 1 年度より隔月に発行する外国人向け情報として「広報あしや」をやさしい日本語と英語に訳し、市内 6 か所に配架を依頼している。3 月末迄で 15 号を発行した。

10) やさしい日本語での防災関連記事の HP 掲載

「広報あしや」に掲載された防災関連の記事を「やさしい日本語」に翻訳し、ACA 及びセンターの HP に掲載して外国人向けの防災周知を図った。

11) やさしい日本語勉強会

日本語ボランティア登録者を対象に、コスモジャーナルや生活に必要なやさしい日本語の表現についての作成を目的とした勉強会。今年度は 11/18 (木)、12/17 (金) に開催し延べ 23 名が参加した。

12) 文化祭

「ひなまつり」を予定していたが新型コロナにより次年度の夏に延期し、「七夕まつり」として開催することとした。

5、神戸大学海事科学研究科への日本語出張講義

前期 (5/13~7/1) 全 8 回、後期 (11/4~12/23) 全 8 回は、レベルの差やニーズに応じたマンツーマン授業をオンラインと対面で実施した。

6、作って食べよう世界の料理教室

コロナの影響で催行人数を半分の 14 名にする等の制限のもと、4 月に南インド編、1 月に韓国編を開催した。緊急事態宣言発出とワクチン接種会場利用等で調理室が使用できず今年度は 2 回の開催であった。

7、各種イベント事業の実施

1) 多文化共生講演会

前年度に予定していたが緊急事態宣言発出で中止となった「グローバル社会のコミュニティ防災」を 1/29 (土) に同じ講師で復活開催した。参加者は対面と Zoom を合わせて 40 名。講師は吉富 志津代氏 (名古屋外国語大学教授・NPO 法人多言語センターFACIL 理事長)。

2) 潮芦屋セミナー

2/26 (土) に奥 譲氏 (関西ろうさい病院名誉院長) による「脳の話-NY市セントバルナバス病院の経験を経て-」を開催した。参加者は 52 名。

3) 潮芦屋コンサート

3/20 (日) に 9 名による弦楽アンサンブル (ダ・カーポ) を開催した。参加者は 77 名。

4) ACA かわらばん

年4回発行のACAの活動紹介の情報季刊誌であるが、コロナの影響とワクチン接種会場利用でイベントが開催できなかった為、2回（春号と新春号）を2頁に縮小して発行した。

収支改善のため、広告掲載料の協力を得ながら、紙面を見やすく、楽しめるようにカラー化を継続した。各委員会から選任されたメンバーによる「かわらばん委員会」で掲載記事を検討し、原稿の校正等を行った。

5) 60周年記念事業

前身の姉妹都市協会から数えて60周年を迎えた記念として、「作って食べよう世界の料理」のレシピ本を出版することとなり、2023年3月の出版にむけて2/24にレシピ本編集委員会を発足し始動した。25年間160講座で作った60ヶ国500余レシピから抜粋した約90レシピと各委員会の活動を紹介する内容で、ACAの活動を広く知ってもらおう広報本としての位置づけである。

6) さくらまつりでのバザー

新型コロナにより「芦屋さくらまつり」が中止となった為、開催が出来なかった。

7) ワールドフェスタ

新型コロナにより中止した。

8、他団体の各種イベントでの共催について

- ・災害時の外国人支援セミナー10/16（土） 芦屋市

9、各種イベントでの他団体への後援・協力について

- ・「耕三の会」、「芦屋能 狂言鑑賞の会」後援
- ・芦屋市主催「乳ガン健診実施」（1/22）協力

10、総会、理事会、常任理事会、各種委員会の開催

- ・定例総会（5/22）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回
- ・理事会（5/22、3/26）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2回
- ・臨時理事会（11/27）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回
- ・常任理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回
- ・専門委員会の開催
 - 外国人支援委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回
 - 国内事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10回
 - 国際事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回

11、会員数（3/31時点）

正会員 27名

賛助会員 201 名
団体会員 1 団体

12、物的サービスを受けたもののうち主なもの
・今年度はありません。

以上